

不適合情報

2022年2月18日(金)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。
 なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 5件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	開閉所北側エリアの屋外照明の消灯を確認した。調査したところ、66kV北側開閉所廻り照明用制御盤漏電遮断器が動作しており、電源回路の絶縁抵抗測定で一部の回路に管理値の逸脱を確認した。当該の照明用遮断器を切り、その他の照明用電源を復旧。当該絶縁不良箇所を調査し修理。	2022/02/15	
2	3号機	計装用圧縮空気系除湿装置(B)点検中に除湿装置(A)の制御ヒューズ復旧作業を実施したところ、除湿装置(B)入口弁が閉動作したことを確認した。調査の結果、手順書が除湿装置(B)が正常に運転している状況で使用するものであり、安全処置の追加など、事前検討が不足していたと推定。当該手順書を改訂。	2022/02/01	
3	5号機	換気空調補機常用冷却水系冷凍機(D)点検の気密確認において、油クーラー冷却冷媒入口弁および圧縮機ギヤボックス予備弁の弁棒付け根に冷媒の漏えいを確認した。当該冷媒入口弁および圧縮機ギヤボックス予備弁を交換。	2022/02/15	
4	6号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(A)点検の潤滑油ヒーター絶縁抵抗測定において、ヒーター2台のうち1台が判定値を逸脱していることを確認した。当該ヒーターを交換。	2022/02/10	
5	6号機	非常用ディーゼル発電機二酸化炭素消火設備(A系)消防検査前の噴射試験時、A系選択弁のシリンダーねじ部に摩耗を確認した。当該消火設備の使用を休止。当該シリンダーねじを交換。なお、消火設備休止にともない、大型消火器を配備済み。	2022/02/15	